



## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月12日

上場会社名 株式会社Laboro.AI 上場取引所 東  
 コード番号 5586 URL https://laboro.ai/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 椎橋徹夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 安達大輔 (TEL) 03-6280-6564  
 定時株主総会開催予定日 2024年12月25日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期の業績 (2023年10月1日～2024年9月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	1,515	10.7	183	△11.1	183	△5.4	133	△4.3
2023年9月期	1,369	86.8	206	—	193	—	139	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	8.43	8.23	5.8	7.2	12.1
2023年9月期	9.70	9.41	8.2	10.2	15.1

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 ー百万円 2023年9月期 ー百万円

(注) 1. 当社は2023年7月31日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年9月期末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 2024年7月に関連会社となりましたX-AI.Labo株式会社の投資損益は、上記の持分法投資損益の金額には反映しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	2,591	2,391	92.3	150.49
2023年9月期	2,490	2,248	90.3	141.96

(参考) 自己資本 2024年9月期 2,391百万円 2023年9月期 2,247百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	4	△434	9	1,523
2023年9月期	116	△15	876	1,943

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,008	32.5	250	36.6	250	36.5	171	28.4	10.79

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	15,887,598株	2023年9月期	15,837,628株
② 期末自己株式数	2024年9月期	一株	2023年9月期	一株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	15,855,318株	2023年9月期	14,391,217株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について）

当社は、2024年11月14日（木）に機関投資家及びアナリスト向けに、2024年11月16日（土）に個人投資家向けに説明会（ウェブ）を開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社は、「すべての産業の新たな姿をつくる。」「テクノロジーとビジネスを、つなぐ。」をミッションに掲げ、各業界の代表的な企業との協働を通し、企業や産業、そして社会の長期的・本質的な構造転換に貢献することを目指しております。

当事業年度における我が国の経済環境は、景気が緩やかに持ち直されてきている一方で、急激な円安進行および中東や東欧における紛争の影響による資源価格高騰、米欧先進諸国におけるインフレ継続、金融引き締め等により、引き続き先行き不透明な情勢が続いております。

このような中、当社が属するAIソリューション市場においては、「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルの技術革新が進捗し、生成AIの活用に対する注目が高まることで、競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業で積極的なDX（デジタルトランスフォーメーション）投資が行われており、事業環境は堅調に推移しております。

#### (売上高)

売上高は、堅調な顧客のDX投資需要を捉え、新規顧客獲得累計件数は20件となりました。また、2024年9月期第4四半期会計期間の売上高は432,731千円と四半期会計期間としては過去最高水準で着地しました。一方で、新規採用した人材の定着/育成に課題があり、期初当初想定していた形より体制拡充の進捗が遅れ、第3四半期の売上高が想定より軟調に着地したことから、当事業年度の売上は期初想定を下回る水準で着地いたしました。

以上の結果、当事業年度における売上高は1,515,258千円（前期比+10.7%）となり、前事業年度から146,072千円増加いたしました。

#### (売上原価、売上総利益)

売上原価は、499,282千円（前期比+3.8%）となりました。主な内訳は、労務費及び業務委託料であります。

以上の結果、売上総利益は1,015,976千円（前期比+14.4%）となりました。

#### (販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は832,587千円（前期比+22.1%）となりました。これは主に人件費、採用研修費、広告宣伝費であります。

以上の結果、営業利益は183,389千円（前期比△11.1%）となりました。

#### (営業外損益、経常利益)

経常損益については、営業外収益として591千円（前期比+95.7%）、営業外費用として491千円（前期比△96.1%）計上し、183,488千円の利益（前期比△5.4%）となりました。

#### (特別損益、当期純利益)

当事業年度における特別損益の計上はありませんでした（前事業年度も計上ありませんでした）。

以上の結果、当事業年度の税引前当期純利益は183,488千円（前期比△5.4%）となり、法人税等を49,902千円計上したことにより、当期純利益は133,586千円（前期比△4.3%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度における資産合計は、2,591,538千円となり、前事業年度末より100,786千円増加しました。流動資産は2,109,626千円となり、固定資産は481,912千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金1,523,398千円、売掛金及び契約資産575,936千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、売上高増加に伴う売掛金及び契約資産の増加、グローピング株式会社とのジョイント・ベンチャー（X-AI.Labo株式会社）への出資に伴う関係会社株式取得による現金及び預金の減少であります。固定資産の内訳は有形固定資産59,075千円、投資その他の資産422,837千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は上記関係会社株式取得による増加であります。

#### (負債)

当事業年度における負債合計は、200,221千円となり、前事業年度末より42,263千円減少しました。流動負債は200,221千円となり、固定負債の計上はありません。流動負債の主な内訳は、未払費用59,587千円、未払法人税等37,030千円、未払消費税等32,680千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、法人税等及び消費税の期中納付額が前事業年度と比較して増加したことにより期末時点の未払法人税等及び未払消費税等が減少した影響であります。

## (純資産)

当事業年度における純資産合計は、2,391,317千円となり、前事業年度末より143,049千円増加しました。主な内訳は、資本金1,009,245千円、資本剰余金999,245千円、利益剰余金382,510千円であり、前事業年度末からの主な変動要因は、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比べ420,178千円減少し、当事業年度末においては、1,523,398千円となりました。当事業年度における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,542千円となりました（前事業年度は116,534千円の収入）。これは主に税引前当期純利益183,488千円、減価償却費26,565千円、売上債権及び契約資産の増加額114,874千円等があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は434,184千円となりました（前事業年度は15,464千円の支出）。これは、関係会社株式取得による支出390,000千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果調達した資金は9,463千円となりました（前事業年度は876,729千円の収入）。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入9,463千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

2025年9月期の見通しにつきましては、国内外のインフレ・金融引締め、中東および東欧での紛争長期化などによるマクロ経済への影響など、依然として先行き不透明な状況でありながら、引き続き競争力強化や人材不足への対応から幅広い産業でのAIをはじめとするDX投資は堅調に進捗すると見立てております。

かかる環境の下、顧客の新商品開発や新サービス開発、新規事業創出といった「バリューアップ」領域における顧客のDX投資需要を獲得すべく、積極的に事業の展開を図るとともに、組織強化と人材増強に努めてまいります。

具体的には、積極的なマーケティング活動、及び顧客の経営層へのアプローチといった営業活動を通じ、新規顧客の獲得や既存顧客とのプロジェクトの継続・拡大に注力してまいります。また、これまでのプロジェクトで培ったノウハウをソリューション化し、効率的な顧客獲得へ繋げる「バリューディストリビューション」活動も加速化する方針です。加えて、事業成長を支える体制の構築に向けて、採用活動の加速化とともに、採用した人材の育成/定着に向けた取組みも強化してまいります。こうした活動の結果、市場成長を超える売上高成長率の実現と、中期的な組織成長に向けた体制構築を両立して進めていくことを目指します。

以上を踏まえ、当社の2025年度9月期の業績予想につきましては、以下を見込んでおります。

	売上高	売上総利益	営業利益
2024年9月期実績 (A) (千円)	1,515,258	1,015,976	183,389
2025年9月期予想 (B) (千円)	2,008,026	1,308,676	250,468
増減額 (B-A) (千円)	492,768	292,700	67,079
増減率 (%)	32.5%	28.8%	36.6%

なお、当業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,943,577	1,523,398
売掛金及び契約資産	461,062	575,936
前払費用	8,975	8,123
その他	1,318	2,167
流動資産合計	2,414,933	2,109,626
固定資産		
有形固定資産		
建物	32,068	32,068
減価償却累計額	△4,969	△8,069
建物(純額)	27,099	23,999
工具、器具及び備品	47,229	89,779
減価償却累計額	△33,090	△54,704
工具、器具及び備品(純額)	14,139	35,075
有形固定資産合計	41,238	59,075
投資その他の資産		
関係会社株式	—	390,000
敷金及び保証金	25,580	24,791
繰延税金資産	9,000	8,046
投資その他の資産合計	34,580	422,837
固定資産合計	75,819	481,912
資産合計	2,490,752	2,591,538

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当事業年度 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,091	11,439
未払金	25,139	34,623
未払費用	64,377	59,587
未払法人税等	56,340	37,030
契約負債	—	201
未払消費税等	59,629	32,680
預り金	26,906	24,658
流動負債合計	242,484	200,221
負債合計	242,484	200,221
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,004,513	1,009,245
資本剰余金		
資本準備金	994,513	999,245
資本剰余金合計	994,513	999,245
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	248,924	382,510
利益剰余金合計	248,924	382,510
株主資本合計	2,247,951	2,391,000
新株予約権	316	316
純資産合計	2,248,267	2,391,317
負債純資産合計	2,490,752	2,591,538



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,369,186	1,515,258
売上原価	481,070	499,282
売上総利益	888,115	1,015,976
販売費及び一般管理費	681,844	832,587
営業利益	206,271	183,389
営業外収益		
受取利息	14	180
その他	287	410
営業外収益合計	302	591
営業外費用		
支払利息	186	—
為替差損	326	489
上場関連費用	12,109	—
その他	—	1
営業外費用合計	12,623	491
経常利益	193,950	183,488
税引前当期純利益	193,950	183,488
法人税、住民税及び事業税	42,806	48,948
法人税等調整額	11,591	954
法人税等合計	54,397	49,902
当期純利益	139,552	133,586

## 【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)		当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※	277,845	57.8	331,285	66.4
II 経費		203,027	42.2	167,996	33.6
当期総製造費用		480,872	100.0	499,282	100.0
仕掛品期首棚卸高		198		—	
合計		481,070		499,282	
仕掛品期末棚卸高		—		—	
売上原価		481,070		499,282	

(注) ※ 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
業務委託料	148,883	116,868
クラウドサービス料	41,972	38,296
減価償却費	7,757	11,276

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	534,999	524,999	524,999
当期変動額			
新株の発行	469,514	469,514	469,514
当期純利益			
当期変動額合計	469,514	469,514	469,514
当期末残高	1,004,513	994,513	994,513

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	109,371	109,371	1,169,369	316	1,169,686
当期変動額					
新株の発行			939,029		939,029
当期純利益	139,552	139,552	139,552		139,552
当期変動額合計	139,552	139,552	1,078,581	—	1,078,581
当期末残高	248,924	248,924	2,247,951	316	2,248,267

当事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	1,004,513	994,513	994,513
当期変動額			
新株の発行	4,731	4,731	4,731
当期純利益			
当期変動額合計	4,731	4,731	4,731
当期末残高	1,009,245	999,245	999,245

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	248,924	248,924	2,247,951	316	2,248,267
当期変動額					
新株の発行			9,463		9,463
当期純利益	133,586	133,586	133,586		133,586
当期変動額合計	133,586	133,586	143,049	—	143,049
当期末残高	382,510	382,510	2,391,000	316	2,391,317

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	193,950	183,488
減価償却費	17,616	26,565
敷金償却費	789	789
受取利息	△14	△180
支払利息	186	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△215,126	△114,874
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,949	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,479	1,347
未払消費税等の増減額 (△は減少)	59,629	△26,948
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	27,177	4,476
その他	16,516	△6,068
小計	105,153	68,596
利息の受取額	14	180
利息の支払額	△186	—
法人税等の支払額	△862	△64,234
法人税等の還付額	12,415	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,534	4,542
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,464	△44,184
関係会社株式の取得による支出	—	△390,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,464	△434,184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△62,300	—
株式の発行による収入	939,029	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	9,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	876,729	9,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	977,799	△420,178
現金及び現金同等物の期首残高	965,777	1,943,577
現金及び現金同等物の期末残高	1,943,577	1,523,398

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
関連会社に対する投資の金額	—	390,000
持分法を適用した場合の投資の金額	—	390,000
持分法を適用した場合の投資利益の金額	—	—

(注) 1. 2024年7月に関連会社となりましたX-AI, Labo株式会社の投資損益は、上記の持分法を適用した場合の投資利益の金額には反映しておりません。

2. 前事業年度については、関連会社がないため記載しておりません。

(セグメント情報等)

当社は、カスタムAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	141.96円	150.49円
1株当たり当期純利益	9.70円	8.43円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	9.41円	8.23円

- (注) 1. 当社は2023年7月31日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	当事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	139,552	133,586
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	139,552	133,586
普通株式の期中平均株式数(株)	14,391,217	15,855,318
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	433,373	373,217
(うち新株予約権(株))	(433,373)	(373,217)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。